

床置壁排水大便器

安全に関するご注意	2
取り付け前のご注意	2
同梱部品の確認	4
施工手順	4
各部のなまえ	5
取付方法	5
施工業者様へ	12

■工事内容に応じて指定のページをご参照ください。

◆「ウォシュレット」はTOTO株式会社の登録商標です。

安全に関するご注意 (安全のために必ずお守りください)

施工の前に、この「安全に関するご注意」をよくお読みのうえ、正しくお取り付けください。

この説明書では、商品を安全に正しくお取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

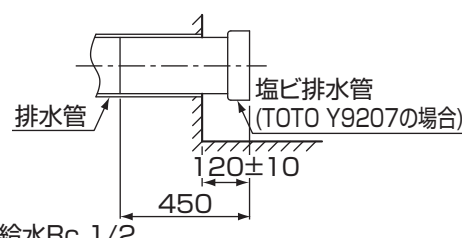
	してはいけない「禁止」内容です。 左図は、「禁止」を示します。		必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。
---	------------------------------------	---	---

⚠ 注意 この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

 禁止	便器に強い力や衝撃を与えない 便器が破損してけがをしたり、水漏れして家財などをぬらす、火災が発生して家財などを燃やすなど、財産損害発生のおそれがあります。
	給水フレキシホースを無理に折り曲げたり、たばこの火やカッターなどで、傷をつけない 給水フレキシホースが破損し、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
	止水栓を開けたままで、給水フィルターを外さない 止水栓を閉めないで水が噴き出して、家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
 必ず実行	浴室など湿気の多い場所に設置しない 火災、感電、発熱、ショートの原因になります。
	設置工事に使用する部品は必ず付属部品および指定部品を使用する 正常な取り付けができなくなる可能性があります。
	設置工事は、この説明書に従って確実に行う 故障や水漏れの原因になります。

※物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

取り付け前のご注意



塩ビ排水管 (TOTO Y9207の場合)

排水管

給水Rc 1/2 壁給水の場合

給水Rc 1/2 床給水の場合

排水立管

1/50以上の順勾配

排水管サドル・支持金具・バンドなどで固定する場合は、便器排水口が接続できる高さに調整したあとに実施ください。固定の際は高さ調整した排水管を引っ張ったり、突き上げたりしないように注意ください。

排水管は、必ず1/50以上の勾配を確保してください。

(単位:mm)

※排水高さの調節代は、120~130 mmです。

排水管中心線

排水管

120±10

300±10

便器取り付け中心線

⚠ 注意

必ず実行

排水管を逆勾配にしない
器具の洗浄性能が低下したり、汚水が器具のトラップ内に逆流するおそれがあります。

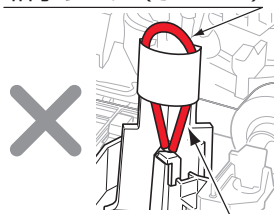
注意 給水管は床面・壁面に対して0+5/-8 mm以内で立ち上げてください。止水栓カバーが傾いたり浮いたりするおそれがあります。

- 便器を防火区画貫通部より1 m以内に設置の場合は、事前に所轄消防署に確認いただき、その指示に従ってください。
- 施工や運搬、清掃時に触れる可能性のある金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)は、陶器と接触しないようご注意ください。
金属類が陶器表面をこすり、スジ状の跡が付くおそれがあります。
- 取り付けに必要なトイレスペースを確保するとともに、ドアの開閉に支障がないことを確認してください。
- 室内暖房付きの場合は温風吹き出し口から150 mm以上の空間を確保してください。(壁が変色する原因となります)
- 後ろ壁に床面から高さ1400 mm以下の棚やキャビネットなどがあると、リモコンの受信条件が悪くなり、リモコンを操作しても本体が反応しないことがあります。(棚、収納キャビネットは下端FL+1400 mm以上を目安としてください)
- 施工前に給水取り出し位置および排水管位置が所定の位置であることを確認してください。所定の位置にない場合、商品が正しく取り付けられないことがあります。
- 電源は交流100 V (50/60 Hz)、定格消費電力は機種によって異なりますのでウォシュレット本体のラベルをご確認ください。
- 給水圧力は最低必要水圧(流動時)0.05 MPa(10 L/分)、最高水圧(静止時)0.75 MPaです。この圧力範囲でご使用ください。
- 商品への通電および通水は取り付け作業をすべて終えてから行ってください。
- 商品セット図は、専用カタログをご確認ください。
- 給水管が床面・壁面から8 mm以上埋没する場合は、市販の持ち出しソケットなどを使用し、所定の立ち上げ位置に調整してください。
- 取付面がコンクリート、モルタルの場合は、樹脂プラグ「HH04060(φ8、10個1組)」を別途手配してください。

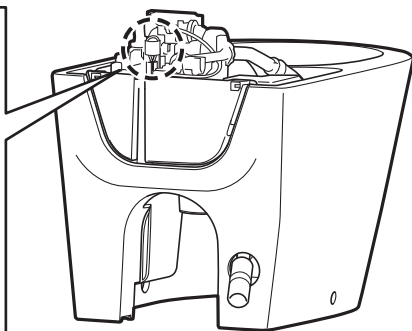
取り付け前のご注意

- 停電時に使用する洗浄用のリングです。施工時は操作しない（引っ張らない）でください。試運転時、便器に水が流れ続ける原因となります。

給水リング（オレンジ）

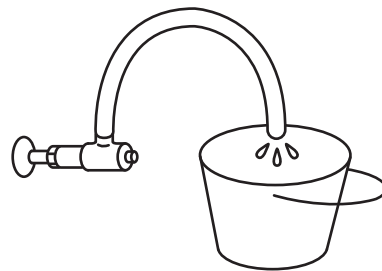


操作しない
（引っ張らない）



給水リング（オレンジ）を止まる位置まで引くことで、便器に水を「流す」と「止める」を切り替えています。

- 商品を取り付ける前に、必ず給水管内のごみ、砂などを完全に洗い流してください。

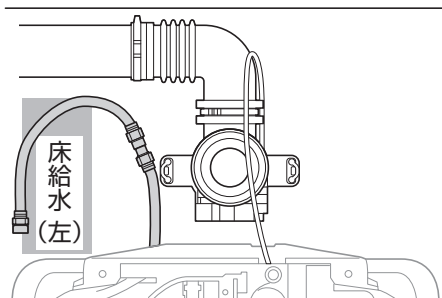


● 壁排水・左右抜きの場合

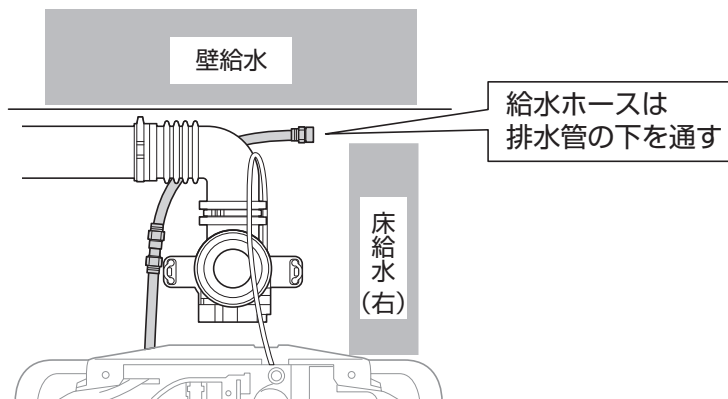
- ・ 必ず排水ジョイント（HP80L）をご使用ください。
- ・ オプション給水ホースを使用する場合は、便器を施工する前に製品に取り付けてください。
- ・ 左抜きの場合は、給水位置に応じて便器を施工する前の給水ホースの取り回し方が異なります。

注意 下記のように取り回さないと給水ホースが排水管和便器の間で挟まり、キンクするおそれがあります。

床給水（左）の場合

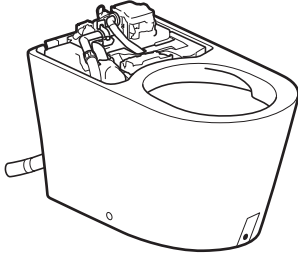
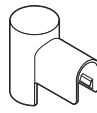
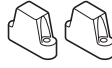
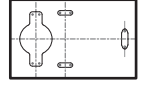


壁給水および床給水（右）の場合



同梱部品の確認

※部品があるか、下記を参照して確認してください。

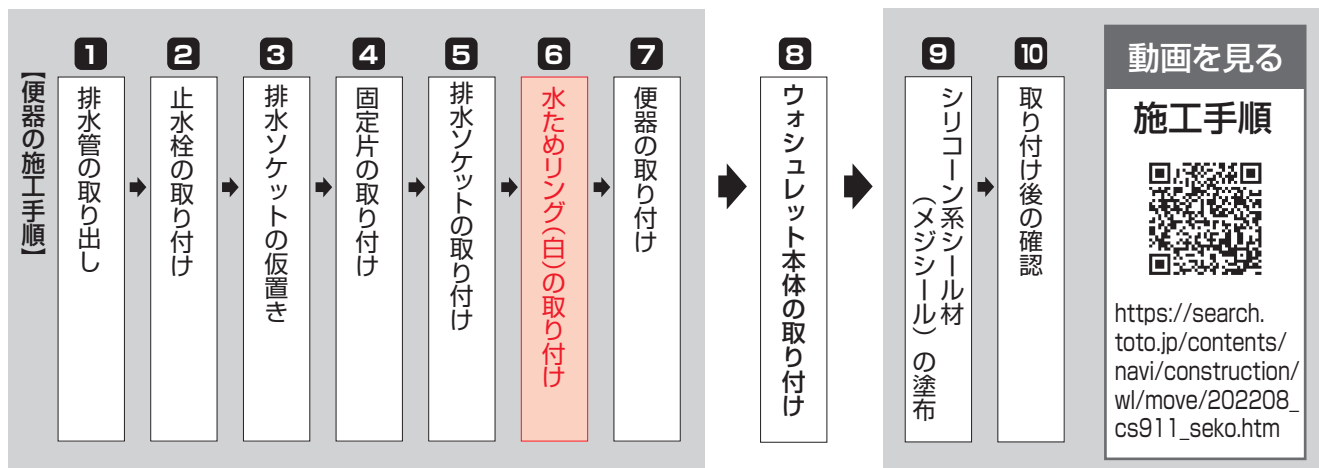
便器本体	排水ソケット	固定金具類
	 排水ソケット (1個)	 木ねじ(便器用) (φ 5.8×75:2本)  止め金具(排水ソケット用) (2個)  木ねじ(排水ソケット用) (φ 5×50:4本)  化粧キャップ (2個)
給水金具	固定片	その他
 止水栓 (1個)  止水栓力バー (1個)  カバー (1個)	 固定片 (1個)  接着ブロック (1個)  木ねじ (φ 5×40:2本)  便器用固定片 (2個)  木ねじ (φ 5×50:4本)	 施工説明書 (1部)  説明書(1部)  位置決めシート (1部)

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。

施工手順

この施工手順に従って便器・ウォシュレットを正しく取り付けてください。

( は本紙、 はウォシュレットの施工説明書をご参照ください)



※大便器背面カバー(別売品)の取り付けは、大便器背面力バーに同梱の施工説明書をご参照ください。

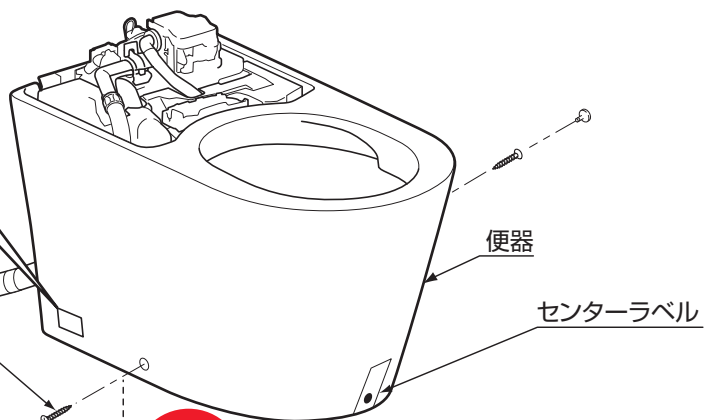
施工手順

各部のなまえ

二次元コードを読み込むと
施工情報を確認できます。

[製品品番]
CS***
#***
[製造番号]

二次元
コード



壁給水の場合

カバー

止水栓カバー

止水栓カバー

止水栓
(床給水)

カバー

固定片

接着ブロック

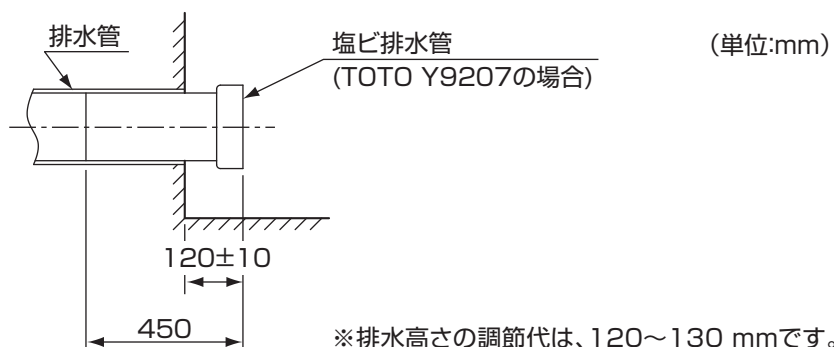
固定片

この説明書は床給水のイラストで説明しています。

取付方法

1 排水管の取り出し

排水管を所定の位置に取り出す。



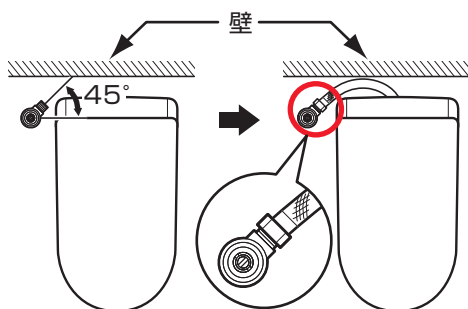
取付方法

2 止水栓の取り付け

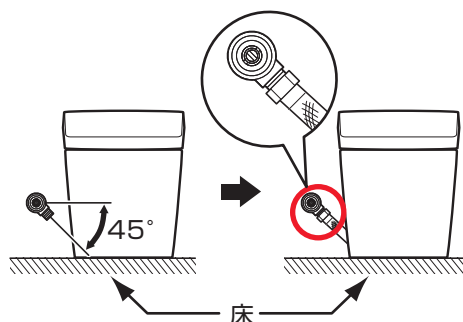
注意 製品同梱のフィルター付き止水栓を必ず取り付けてください。
ゴミかみによる止水、吐水不良になるおそれがあります。

止水栓の給水取り出し方向と止水栓高さを確認して取り付けてください!

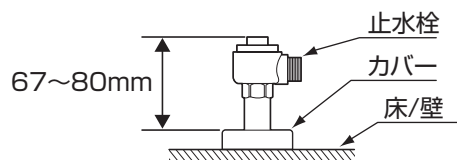
床給水の場合の止水栓取り出し方向



壁給水の場合の止水栓取り出し方向



止水栓高さ



⚠ 注意

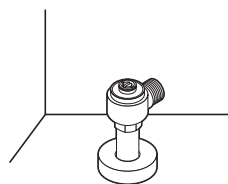
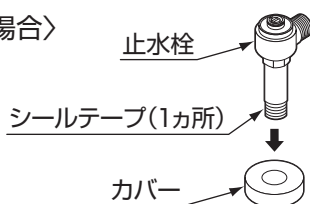


必ず実行

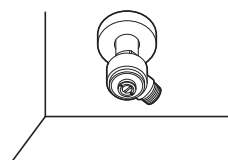
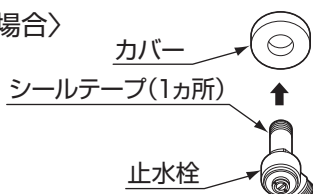
止水栓の給水取り出し方向を45°の範囲で取り付ける
誤った方向に取り付けると洗浄不良や水漏れのおそれがあります。
試運転後は接続部において水漏れしていないか確認する
取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。

① 止水栓を取り付ける。

〈床給水の場合〉



〈壁給水の場合〉



・ねじ部にはシールテープを巻いて取り付けてください。※取り付け時の際、止水栓の向きに気をつけてください。

動画を見る

止水栓の取り付け

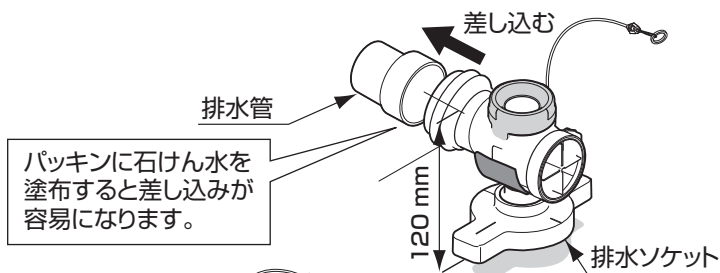
https://search.toto.jp/contents/navi/construction/wl/move/202208_cs911_shisuisen.htm



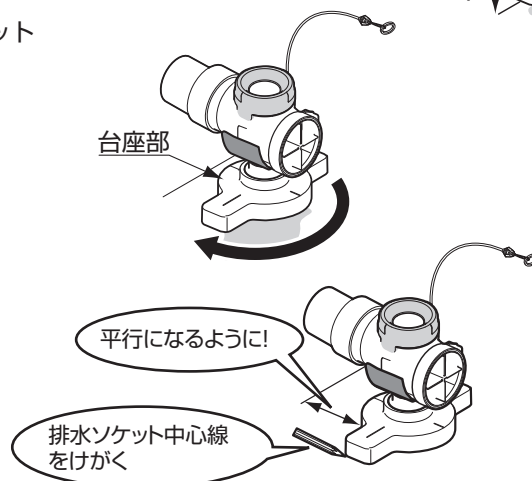
取付方法

3 排水ソケットの仮置き

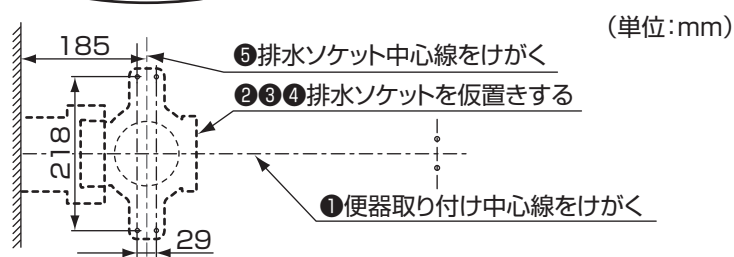
- ① 便器取り付け中心線をけがく。
- ② 排水管高さが、120 mm (調節代: 120 ~ 130 mm) であることを確認する。
- ③ 台座を縮めた状態で、排水管に排水ソケットを差し込む。
- ④ 台座部を床に当たるまで回転させる。



- ⑤ 排水ソケットが壁に平行になるように調整し、排水ソケット中心線をけがく。
※便器取り付け中心線と排水ソケットの中心がほぼ一致するように仮置きしてください。



<排水管の出代120 mmの場合>

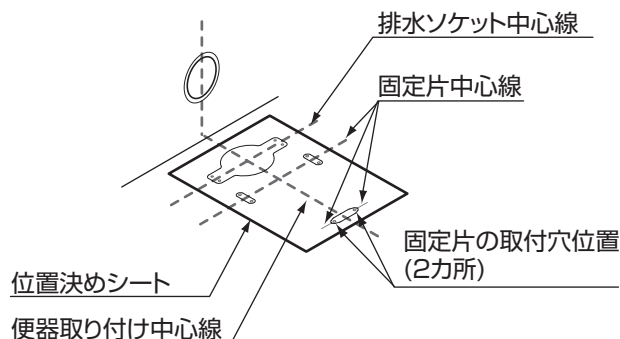


- ⑥ 排水ソケットを外し、排水ソケット取付木ねじ位置 (4カ所) に ϕ 3 程度の下穴をあける。

4 固定片の取り付け

(位置決めシート設置状態【床給水の場合】)

- ① 位置決めシートを便器取り付け中心線と排水ソケット中心線にあわせるようにおく。

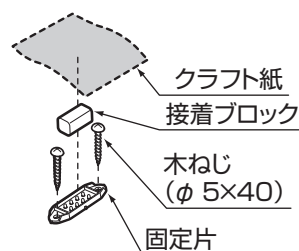


- ② 固定片取付穴位置、固定片中心線をけがく。

- ③ 位置決めシートを外し、固定片を所定の位置に木ねじで床 (2カ所) に固定する。

・床に木ねじをねじ込む前に、 ϕ 3 程度の下穴をあけると作業がしやすくなります。

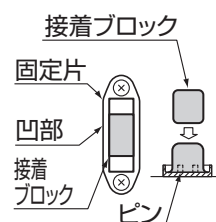
- ④ 横固定片を、木ねじで床 (4カ所) に固定する。



- ⑤ 接着ブロックを、クラフト紙に包んだ状態のまま固定片の凹部のピンに差し込み、指で軽く押す。

<接着ブロックについて>

- ・施工直後のやり直しの際は、接着ブロックの形を右図のように整えてください。
- ・接着ブロックの方向性は特にありません。
- ・気温が下がると接着ブロックが固くなることがあります。接着ブロックをあたためて柔らかくしてからご使用ください。

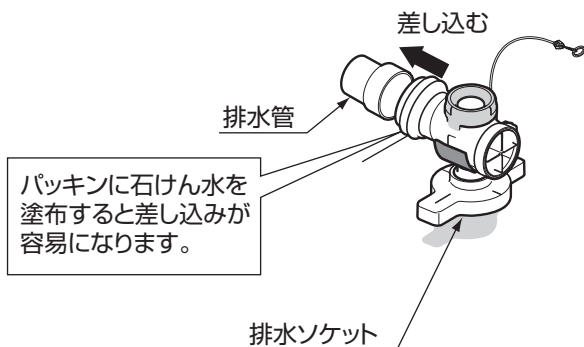


- ・詳細は、接着ブロック同梱の注意書をご参照ください。

取付方法

5 排水ソケットの取り付け

① 台座を縮めた状態で、排水管に排水ソケットを差し込む。



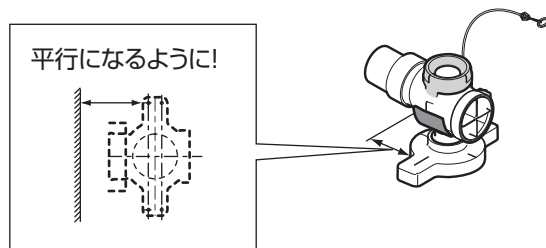
④ 排水ソケット固定部(2カ所)に止め金具を取り付けて、木ねじで床(4カ所)に固定する。



② 台座部を床に当たるまで回転させる。

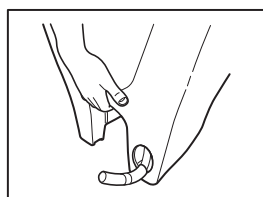


③ 排水ソケットが壁に平行になるように調整する。

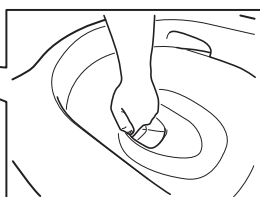


※ 取り付ける際、床と排水ソケットでワイヤーを挟まないようにご注意ください。

図示の通りに便器を持つ。



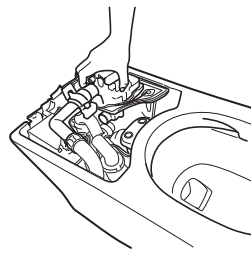
便器後方の開口部を持つ



便器の排水穴を持つ

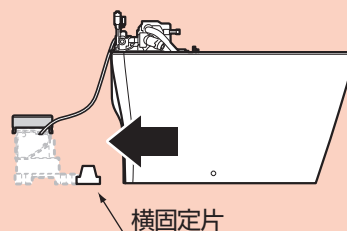
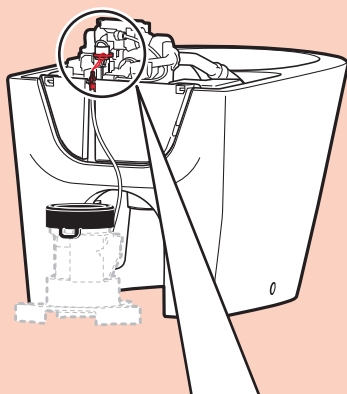


注意 機能部を持つと破損するおそれがあります。



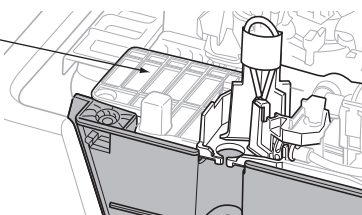
6 水ためリング(白)の取り付け

7 便器の取り付け



横固定片
陶器後方を横固定片に近づけて陶器を仮置きし、水ためリング(白)を固定してください。

バルブ固定台



①バルブ固定台のスリット部に水ためリング(白)の紐を通す。

②水ためリング(白)を引張りフック部を固定する。

③水ためリング(白)をバルブ固定台に引っかける。



スリット部

下記項目を確認後、■に✓してください

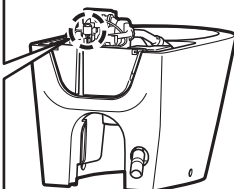
☐ 取り付け後、水ためリング(白)が固定台から外れないことを確認しましたか

●停電時に使用する洗浄用のリングです。施工時は操作しない(引っ張らない)でください。試運転時、便器に水が流れ続ける原因となります。

給水リング(オレンジ)



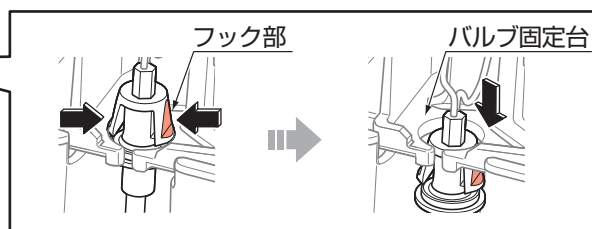
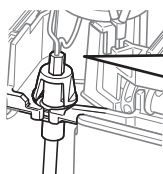
操作しない
(引っ張らない)



給水リング(オレンジ)を止まる位置まで引くことで、便器に水を「流す」と「止める」を切り替えています。

<水ためリング(白)を取り外す場合>

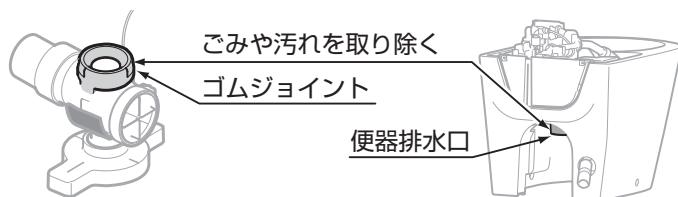
フック部をつまみながら下方に押して、バルブ固定台から外す。



取付方法

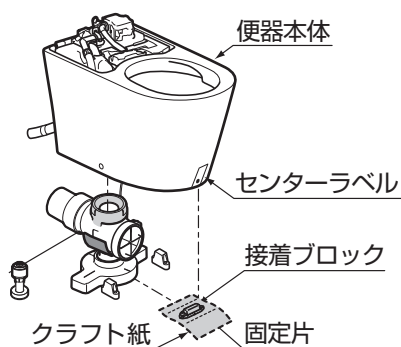
7 便器の取り付け

- ① 便器排水口および排水ソケットのゴムジョイントのごみや汚れを取り除く。



注意 壁排水・左右抜きの場合は、便器を施工する前に「取り付け前のご注意 ●壁排水・左右抜きの場合」をご確認ください。

- ② 便器排水口を排水ソケットに差し込む。
 ・目安として製品と壁のすき間が10～15 mmを目指して真上から取り付けるとスムーズに入ります。
 ※壁に傷がつかないように差し込んでください。
 ・壁面に幅木があり便器が取り付けられない場合には、幅木をカットしてください。

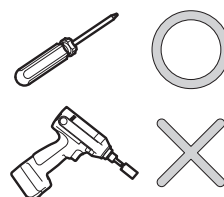


- ③ センターラベルを基準に位置合わせ後、先端を少し持ち上げる。
 クラフト紙を引き抜く。
 ④ センターラベルをはがす。
 ⑤ 便器が床につくまで便器を押さえる。

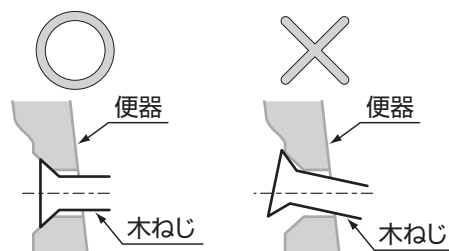
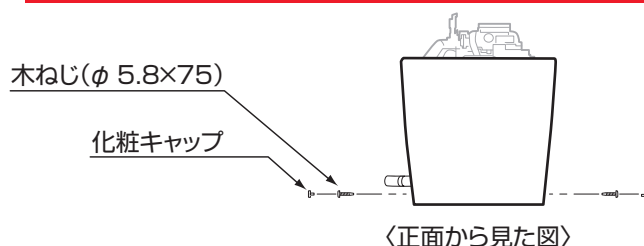
- ④ 便器の取付穴（2カ所）をねじで固定し、化粧キャップを取り付ける。

※ねじを確実に締めてください。

注意 ねじを締め過ぎて便器を割らないように注意してください。



ねじは床面と平行に締めてください。
 斜めに締め込むと、化粧キャップが浮き上がってしまいます。

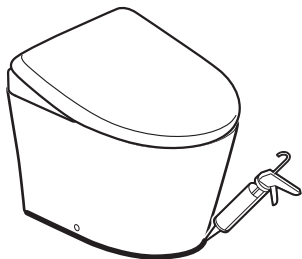


8 ウォシュレット本体の取り付け

ウォシュレットを便器に置いて、コネクターを接続する直前にコネクターのテープを剥がしてください。
 ※取付方法・操作方法は、ウォシュレット本体同梱の施工説明書をご参照ください。

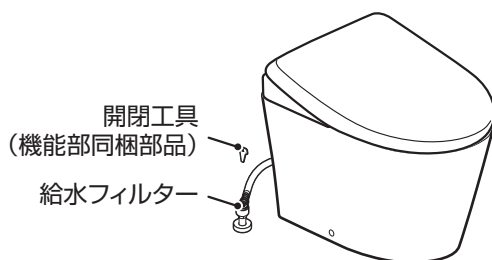
9 シリコン系シール材(メジシール)の塗布

トイレ床材に防水加工がされていないフローリング(木質系)を使用すると、こぼれた小水や結露水などが便器と床材のすき間に入り込み、床シミが発生することがありますので、おすすめできません。
フローリング(木質系)を使用される場合は、便器ハカマ下部周囲に防カビ性のシリコン系シール材(メジシール)を塗布することをおすすめいたします。

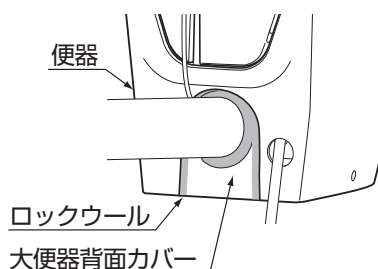


10 取り付け後の確認

- 試運転(洗浄)後、便器ボウル内に配管の切粉など異物がないことを確認してください。もらいさびなど異物付着の原因となるおそれがあります。
- 陶器表面に傷などがないことを確認してください。陶器表面に金属類(時計のバンド、ベルトのバックルなど)が強く接触したり、こすれたりすると黒や銀色のスジ状の跡が付くことがあります。スジ状の跡が付いた場合は、当社商品「蛇口まわりのクリーナー」で除去してください。
- 施工したあとは、便器ボウル内に油などの見えない汚れ(コーキング剤、配管用接着剤など)が付く場合がありますので、トイレ用中性洗剤(研磨剤なし)を使って、必ず汚れをふき取ってください。便器ボウル面の洗い残りの原因となります。
- 試運転後はすべての接続部において水漏れしていないか確認してください。
取り付けが不十分な場合、水漏れして家財などをぬらす財産損害発生のおそれがあります。
- 試運転後、必ず止水栓を閉じて給水フィルターを「掃除」してください。
※機能部に付属の開閉工具で給水フィルターを外して、掃除してください。
※フィルターの掃除後、忘れず止水栓を開けてください。



- 止水栓に止水栓カバーが取り付けられていることを確認してください。
- 大便器背面カバーを取り付けた場合、下記注意事項を確認してください。



⚠ 注意



必ず実行

- ロックウールと便器・排水管の間にすき間がないか確認する。
- ロックウールに破れがないか確認する。
すき間・破れがある場合は市販のアルミガラスクロステープで補修する。
すき間が生じると防火区画対応不備になるおそれがあります。また、便器の差し込み不足によりすき間から水漏れするおそれがあります。



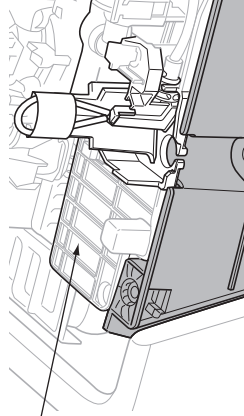
必ず実行

この注意書は特に注意が必要な箇所を抜粋しております。
詳しくは施工説明書をよくお読みいただき、施工説明書の内容に沿って正しく施工してください。

便器を排水ソケットに取り付ける前に、水ためリング（白）を取り付ける。

取り付けないと、停電時に便器洗浄ができなくなります。

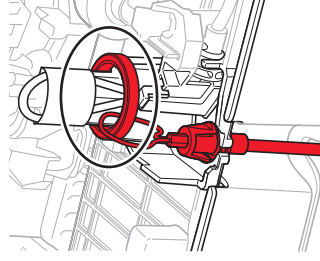
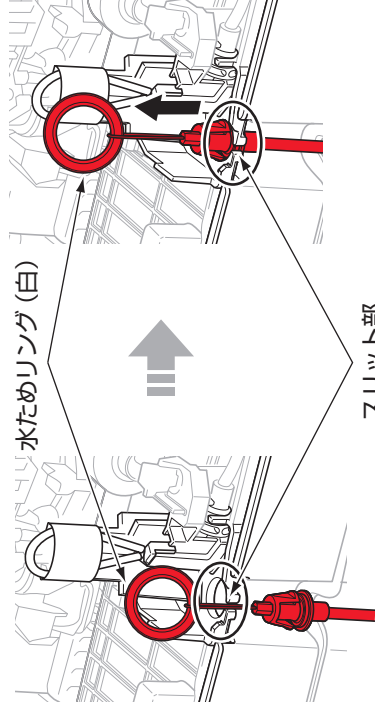
バルブ固定台



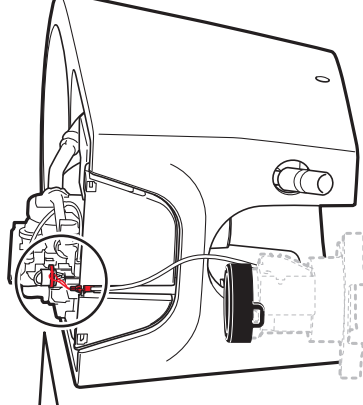
①バルブ固定台のスリット部に
水ためリング（白）の紐を通す。

②水ためリング（白）を引張り
フック部を固定する。

③水ためリング（白）を
バルブ固定台に引っかける。



スリット部

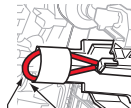


●停電時に使用する洗浄用のリングです。施工時は操作しない（引っ張らない）でください。試運転時、便器に水が流れ続ける原因となります。

給水リング（オレンジジ）



操作しない
（引っ張らない）



給水リング（オレンジ）を止まる位置まで引くことで、
便器に水を「流す」と「止める」を切り替えています。

※施工説明書の「水ためリング（白）の取り付け」をご確認ください。

施工説明書は裏面をご参照ください。

※品番によっては、図と現品の形状が一部異なります。